

令和4年度第3回安曇野市生涯学習推進市民会議概要

- 1 審議会名 安曇野市生涯学習推進市民会議
- 2 日 時 令和4年10月12日(水) 午後3時から5時まで
- 3 会 場 安曇野市役所 大会議室
- 4 出席者 猿田みさ子委員(会長)、丸山明男委員(副会長)、高橋みち子委員、鳥羽將司委員、赤羽敦子委員、荻原義重委員、筒井年恵委員、柿本 豊委員、池田安宏委員、伊藤政江委員、浅見郁子委員、三澤正彦委員
- 5 市側出席者 矢口教育部長、生涯学習課深澤課長、生涯学習課遠藤係長、生涯学習課吉田副主幹
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 令和4年12月14日

協 議 事 項 等

会議概要

- 1 開 会 丸山副会長
- 2 あいさつ 猿田会長、矢口教育部長
- 3 協議事項
(1)第2次安曇野市生涯学習推進計画改訂版の素案について
- 4 その他
- 5 閉 会 丸山副会長

協議事項

(1)第2次安曇野市生涯学習推進計画改訂版の素案について

【委員】

「差し替え3」P44での②安曇野市コミュニティースクール事業の実施で、分かりやすい資料になったと思います。追加資料の教師及び保護者の学校評価結果で、教職員・保護者の目を生かされる表現になっている。ここに地域ボランティアの意見も加えてほしい。

【事務局】

ボランティアのご意見を入れるということですが、学校運営協議会・地域学校本部連絡会の中でボランティアの意見を反映させていきたい。

【委員】

P44の②安曇野市コミュニティースクール事業の実施にある関連計画に「安曇野市教育大綱」とあるが、その下に「学校経営計画」を入れてほしい。

【事務局】

計画に加えます。

【委員】

P4の(1)SDGsへの貢献で、共通した考え方で「誰一人取り残さない」とあるが、「この目標を念頭に置いた検討が求められています。」の表現の中に「推進していく」という表現を入れたらどうか。また、資料2の①SDGs(持続可能な開発目標)ですべての項目に人権を反映してほしい。

【事務局】

「推進していく」という表現を加えます。

【委員】

P23の⑨共生社会づくりのための講座の開催で、安曇野市の実態があまりにも大まかすぎるので、「様々な講座を開催します」を「身近な地域での活動を支援します。」に変えてほしい。高齢化で男女共同参画明科支部が解散した。安曇野市全体をみても5地域で地域に定着した活動が停滞しているのではないかと。明科が解散して取り残された感じがする。市全体の催しへの参加もごく一部の人しか参加していないのでは。実際と実態に見合った活動をどのようにすればよいか。具体的に見えるようにしてほしい。

【事務局】

担当課(人権共生課)に伝え検討させていただきます。

【委員】

学校教育課の職員がCS（コミュニティースクール）活動・学校運営協議会に特化したレクチャーをしてほしい。私たちが地域でどんな話をすればよいか分からないし伝えづらい。具体的にコミュニティースクール活動はどんな活動を行っているか。学校運営協議会は年何回開催しているか。活動内容を教えてほしい。

【事務局】

安曇野市のCS活動は「学校に根差した地域づくり」「地域とともにある学校づくり」の2つをテーマに、学校運営協議会、地域学校協働本部連絡会で話し合いを行っている。学校運営協議会は第1回を開催していて、地域学校協働本部連絡会は1学期に1回開催している。CS活動は分かりづらい面があるので、市民へ向けて分かりやすいように説明をしていきたい。

【委員】

P8の「差し替え2」で、将来都市像にある「田園産業都市」がひっかかる。このページとの関連が分からない。「田園産業都市」はどのように捉えたらよいか。

【事務局】

安曇野市総合計画は現在策定中であり、「田園産業都市」という表現は確定していません。

【委員】

P8の「差し替え2」のスポーツを楽しむ環境の充実と記載があり、P24⑩スポーツ教室の開催で安曇野市は自転車を活用したまちづくりを行っている。その観点から見ると「安曇野市は自転車を活用したまちづくり」がこの計画の中から抜けているので、入れてもらえるよう検討してほしい。

【事務局】

検討させていただきます。

【委員】

P8の「1. 4 本計画の位置付けと性格」の中で、安曇野市総合計画・安曇野市教育大綱は令和5年度策定となっている。当初の生涯学習推進計画を見ると総合計画は平成29年度策定、教育大綱は平成27年度策定で2年間の差がある。

【事務局】

第1次教育大綱は平成27年11月25日策定で、第1次総合計画は平成30年3月31日策定になっています。第2次教育大綱の計画期間は平成30年12月18日から令和5年3月31日になっております。

【委員】

P12中央にある「5. 1 学習機会の充実」で、「4. 1 学習機会の充実」ではないか。（P38にも同様の箇所が有。）

【事務局】

修正致します。

【委員】

P10・P11のライフステージがあっていないのでは。根拠があれば教えてほしい。

【事務局】

前回のアンケートでは、この区切りで分けさせてもらいました。第3次計画策定の際に検討したい。

【委員】

P48の③市民サポートセンターの充実で、1週間位前に本庁舎東玄関左側にある市民の自主サークル交流場所の移動を市長へ要望した。120人～130人からの要望で市長も前向きに受け止めてもらえたと聞いている。ここの表記を「市民と行政、その他団体等との連携・協働を促す市民活動サポートセンターの環境の充実と活動の発展を図ります。」に変えてほしい。

【事務局】

担当課（地域づくり課）に伝え検討させていただきます。

【委員】

P52、P53の色を見ても読みづらかった。P4、P5で（1）から（6）の項目が挙げられているが、併記をされていることに違和感を覚えてしまう。生涯学習の定義にもあるように学習をしながら地域づくりに関わっていくことで、その中で人が生きるということを考えて人権共生課が出来て条例が制定されたことになる、地域を支えるものの大事な1つになるのではないか。生涯学習推進計画を考えたときに地域らしさを考えてくると思うので、生み出された条例を基礎に据えてほしい。

【事務局】

P5の「（4）多様性を尊重し合う共生社会の実現に向けて」と作られた条例をほかのページへ移してよいということでしょうか。移す場所等を検討します。

【委員】

P15①冊子『安曇野市生涯学習情報「Link（リンク）」』の発行で成果指標：残部率とあるが、どのような効果・成果があったかを見ることは難しい。残部率で見る評価をする必要はあるかどうか。残部があれば他に配布するようになり、必要がないのでは。P19④子どもの読書活動の推進でP17（2）妨げ要因への対応のことなのか。内容が違うのでは。記載内容が大きな事柄について書かれてある。

【事務局】

「Link（リンク）」をどれだけの人が見たかを指標にしたい。図書館の関係ですが、文化課で検討させて頂きたいと思います。

【委員】

P21①人権に関する講座の開催にある関連計画：安曇野市人権教育・啓発推進計画で、安曇野市は人権尊重宣言、基本方針、差別撤廃・人権擁護条例が示されているか。

【事務局】

安曇野市人権教育・啓発推進計画については人権共生課で共生社会づくり計画を作成しているので、生涯学習推進計画と整合性を図りながら計画の見直しをしていきたい。

【委員】

人権尊重の宣言、基本方針の策定についても考えてほしい。

【委員】

P45④朗読協力者（朗読ボランティア）研修会の開催の担当課が文化課で、P47⑨手話奉仕員養成講座の開催の担当課が障がい者支援課になっている。視覚障がい・聴覚障がいで分けがあるかどうか。管轄が違うということについて教えてほしい。

【事務局】

朗読ボランティアは視覚障がいのある方に図書館資料を提供している。図書館担当者がボランティアを募って音声テープの作成を文化課で行い、手話奉仕員は耳が不自由な方への手話を障がい者支援課で行っています。